

R2年度 出前講義 講座登録一覧

※R2年7月更新

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
1	教育学部	教授	永尾智	英語の成り立ち	英語の文法の諸相についていくつかの現象を取り上げて語る。英語の歴史的成立過程のいずれかの段階について語る。	ことば、言語としての英語に興味のある高校生	土日祝日、長期休暇中	パワーポイント、音声出力可能なパソコン接続環境
2	教育学部	准教授	吉川暢子	子どもの豊かな表現を育む遊び	子どもは遊びの中からたくさんのことを学んでいます。しかし、子どもに「〇〇させる」という行為を大人や教師が押し付けていないでしょうか？そこで、子どもが自ら「やりたい」と思う遊びや子どもの表現について考えます。	保育者、幼児の親、親子		講義スタイルではなく実技や演習を伴うワークショップ形式
3	教育学部	准教授	宮本賢作	子どもの健康に関わる環境(運動、生活習慣、メディア)について	最近の子供の体力低下問題、生活習慣の悪化、スマホやゲーム機等について、正しい理解と今後の生活のあり方について考える講義を行います。	小中高生と保護者	応相談	主として学校保健委員会で保護者も同席で講義を行いたいと思います。
4	教育学部	教授	高橋尚志	科学することの喜び	科学実験とお話により、科学することの意味を考えます。	小学校、中学校、高校生、一般	応相談	
5	教育学部	教授	高橋尚志	表面の科学	物質の表面に光をあてて電子を見る科学 表面物性を実験で見する方法を解説し、生活の中でどう結びつくのかお話しします	中学校、高校生、一般	応相談	
6	教育学部	教授	高橋尚志	真空実験	小・中・高校生向け実験教室	小・中・高校生	応相談	
7	教育学部	教授	高木 由美子	イオン液体の世界	イオン性液体は、化学的・熱的に安定で、液体の温度範囲が広く、蒸気圧が大変低いといった利点があります。その特徴を活かした研究について紹介します。	小学校、中学校、高校生、一般	要相談	
8	教育学部	教授	佐藤明宏	国語の授業のつくりかた	小、中、高等学校の国語科教員を対象に、国語の授業の教材研究の仕方、教材開発の仕方、学習指導案の書き方、具体的な発問、板書、ノート指導の方法等について講義したり、国語科授業づくりのアドバイスをします。	小、中、高等学校の国語科教員	随時	
9	教育学部	准教授	小森博文	体の中ではたらく分子について	私たちの体は、目には見えない小さな物質(分子)で構成されており、生命活動はこれらの分子の化学反応によって駆動している。主に、タンパク質のはたらきを通して、生命のしくみについて解説する。	高校生		
10	教育学部	教授	小方朋子	特別支援教育について	教育関係者、保護者、高校生に対して発達障害や特別支援教育について解説	教育関係者、保護者、高校生		
11	教育学部	准教授	松島 充	友達との対話を通して学ぶ算数・数学	友達との対話を通して算数・数学学習を体験します。その体験から、学習における対話の意義について考えます。	小学生、中学生	応相談	
12	教育学部	教授	上野耕平	児童期におけるスポーツ指導	児童期におけるスポーツ指導の在り方について、スポーツ心理学の観点から説明します。	一般	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
13	教育学部	教授	植田和也	人としてともに生きる、自分づくり なかまづくり	(学校で行われている道徳教育や人権教育について)人として他者とともに生きることの大切さや、人として「したくてもしてはいけないこと」や「したくなくても しなければいけないこと」について考える。	小学生 中学生	応相談	
14	教育学部	准教授	大久保 智生	心理学を学と何がわかるのか				
15	教育学部	教授	内藤 浩忠	大学で学ぶ数学	大学の教養課程(理科系)で学ぶ(であろう)数学の概説をする。高校までの数学との違いにもふれたい。質問の時間も十分に取りたい。(講義内容以外のことでよい)	高校生	応相談 (基本的にはいつでもよい)	
16	教育学部	准教授	ポール・バテン	第2言語における伝達方略	第2言語(外国語)で話す時に、学習者に必要な伝達方略について授業での指導と評価について説明・紹介します。	小学校から高校まで、 一般市民	応相談	
17	教育学部	教授	毛利 猛	高校生のための教育学入門	教育学は、わたしたちの教育経験の反省に根ざした学問です。この講座では、自分が受けてきた教育を「責任ある教育者の立場」から振り返りながら教育学の基礎を学びます。	高校生	応相談	
18	教育学部	教授	山神 眞一	コミュニケーション力を育てる	人と人との出会いにおけるより良いコミュニケーション力を育てる実技を交えた講義	小学校から高校まで	応相談	
19	教育学部	教授	野崎武司	スロージョギングで楽しく健康づくり	スロージョギングの実施方法とその効用を伝える。できれば実技を含めて。(野崎は、日本スロージョギング協会の公認アドバンス・インストラクターである)	一般	要相談	運動できる服装(実技の場合)
20	教育学部	教授	柳澤良明	教育系への進学を考えている高校生の皆さんへ	教育系への進学を考えている高校生の皆さんに、教員の仕事の中身、教員になるまでの道筋、大学での学修内容、等について語ることで、進学へのモチベーションを高める。	高校生		可能であれば、事前に参加予定者から質問を出してもらった上で、その質問に回答する内容を盛り込みながら話をしたいと思います。
21	教育学部	教授	柳澤良明	学校教育の国際比較－日独比較を中心に－	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	高校生、一般(青年、壮年、老年)、教員、等		柳澤からの情報提供の後に、参加者との質疑応答や意見交換ができればと思います。
22	教育学部	教授	鈴木 正行	社会科を通して見るこれからの学校の行方	社会や教育行政から学校への要望が多様化・複雑化する中で、学校も地域も保護者も喘いでいるのが現状です。これに対して、社会科に携わる者から見た学校の姿を浮き彫りにし、打開の方向を探っていきます。	学校教員、一般	主に木曜日の午後(都合がつけばそれ以外の時間でも可能)	一部、教員免許講習科目(社会と歴史の教育)などの内容と重なる場合があります。
23	教育学部	教授	櫻井佳樹	教育とユーモア	子どものユーモアを手掛かりに、子どもに関わる教育の魅力や人間にとって教育がもつ意味について考えます。	高校生	6月後半から7月の水曜日、木曜日	なし
24	教育学部	准教授	岡田 涼	やる気の心理学	勉強や仕事など、「やる気」が問題になる場面は少なくありません。やる気とは何か、どうすればやる気が高まるのかについて、心理学を通して考えます。	一般、高校生	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
25	教育学部	准教授	岡田 涼	自尊感情の心理学	自分のことを大事だと思ふ気持ちのことを自尊感情といいます。心理学の研究をもとに、自尊感情の特徴について考えます。	一般、高校生	応相談	
26	教育学部	准教授	金網 知征	いじめ問題を考える	いじめの定義やメカニズム、いじめの加害者や傍観者の心理、いじめ防止対策推進法に基づきいじめの予防と対応など、対象に合わせて「いじめ問題」を考えます。	小・中・高校生、一般、教育関係者等	応相談	
27	教育学部	准教授	金網 知征	インターネット媒体問題を考える	SNS等における誹謗中傷や個人情報暴露、不適切投稿や炎上、犯罪巻き込まれなどのネット媒体問題について、その背景要因を探り、被害者にも加害者にもならないための情報モラルと情報リテラシーについて考えます。	小・中・高校生、一般、教育関係者等	応相談	
28	教育学部	教授	宮崎 英一	初心者のためのプログラミング入門教室	本講座はプログラミングの初学者を対象とした教室です。近年、小学校にプログラミング教育が必修科目となりました。また私たちの身の回りにもAIやIoTといった従来には無かった新しいICT技術があふれています。本講座では、ビジュアルプログラミング等の簡単なプログラミングを通じて、従来の与えられたプログラムを使用するだけでなく、自分のプログラムでコンピュータとの対話が出来れば新しい世界が広がるでしょう。	小学校、一般(青年、壮年、老年)	要相談	個人ごと使用できるコンピュータ及びネットワーク環境
29	教育学部	准教授	中住 幸治	カタカナ語・略語について	世の中に氾濫しているカタカナ語・略語について正確な形式、歴史・起源、利点・欠点などを学ぶ。	中・高校生	2月下旬～3月	
30	法学部	教授	山本 慎一	法学部での学びと国際法・国際連合の世界	法学部で学ぶ内容を紹介するとともに、国際法や国連の仕組み、役割などを解説することで、大学での学習や卒業後の進路への意識付けを行い、国際法・国連に対する興味・関心・理解を深めて国際社会における日本の立ち位置を知る。	高校生	相談により決定	国際法や国連を中心とした国際機構の話に焦点を絞ることで、法学部志望者だけでなく、国際系や政策系の学部志望者にも対応可能。
31	法学部	教授	鹿子嶋仁	日常生活と法	水道料金と下水道料金の法的な扱いの相違など、学生でも身近に感じてもらえる素材を用いて、日常生活と法律の世界がどのように関わっているかを実感してもらえる講義。	学生(内容から高校生程度が望ましい)	公務に支障がない範囲で随時	
32	法学部	教授	柴田潤子	独占禁止法入門	価格カルテル、入札談合、下請法、優越的地位の濫用、再販売価格維持行為という独占禁止法の中心的な問題について解説する。	出前講義(高校生)、研修、生涯学習講座が可能		
33	法学部	教授	石井 一也	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。しかし、それでは、人類に限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
34	法学部	教授・学部長	三野 靖	地方自治全般	地方自治に関すること(個別のテーマは要相談)	市民、学生	随時	地方自治に関することで、教員が対応可能なテーマ。個別に要相談。

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
35	法学部	准教授	吉井匡	犯罪捜査と刑事裁判	犯罪捜査や刑事裁判、裁判員制度などの現状について、対象者の関心に応じて講義する。	中学生以上一般まで	応相談	個人が抱える刑事事件・トラブルに関する質問には応じられません。
36	法学部	教授	藤井 篤	現代史を学ぶ意味	現代史とは何か、それを勉強することは私たちにとって何の意味があるのか。戦争や植民地支配の歴史的経験を通して、今私たちに問われていることを考える。	高校生	応相談	
37	法学部	教授	堤 英敬	若者と選挙・政治	2016年から「18歳選挙権」が導入されましたが、若者たちは選挙でどのような行動をとっているのでしょうか。また、政治や選挙をどのように捉えているのでしょうか。選挙や世論調査のデータを用いて検討していきます。	高校生、一般(青年、壮年、老年)	応相談	
38	法学部	教授	堤 英敬	選挙について考える	選挙権を得たばかりの人たち、また、これから選挙権を得る人たちの多くが感じているであろう、なぜ選挙が必要なのか、なぜ投票が大切なのか、どのように投票先を決めたらよいか、といった疑問について考えていきます。	高校生	応相談	
39	法学部	教授	前原 信夫	銀行の役割・機能について	経済活動における銀行の役割・機能を学ぶことで、私たちの日常生活と金融とのかかわりに対する理解を深めます。	中学生・高校生	応相談	
40	法学部	教授	金子 太郎	政治、経済、国際政治、哲学など	生徒に知りたいことを話してもらって講義する	中・高(小も可)	随時(講義やゼミのない日)。後期は水曜(会議のない日)と木曜。	
41	法学部	教授	平野 美紀	現代の犯罪と犯罪被害者支援制度	現代社会における犯罪や犯罪者の処遇、犯罪被害者支援制度を通して、社会の一面を考える。	関心のある方	応相談	
42	法学部	教授	平野 美紀	死をめぐる自己決定と法的諸問題	死をめぐる自己決定(尊厳死や安楽死)などを通して、医療における患者の意思のあり方、それらにかかわる法律問題を考える。	関心のある方	応相談	
43	法学部	准教授	春日川 路子	民事手続法	民事の争いと民事手続—争いごとを処理する仕組み	中学生から高校生、一般も	8月、9月	
44	法学部	教授	肥塚 肇雄	「自動運転車が街にやってきた！街が変わる、生活が変わる—小豆島自動運転公道実験の結果から見えたこと—」	2018年3月に小豆島で実施した3大学自動運転公道実験の結果を踏まえ、自動運転クルマ社会になると、街や生活はどのように変わるか変える必要があるかを考えていきます	自動運転に興味関心がある方。特に対象者はいません	随時	
45	法学部	教授	肥塚 肇雄	「終活と法」	少子高齢社会ではさまざまな法律問題があります。人生の高齢期を迎えますと、相続問題、遺言、空き家問題、お墓の問題等々、生きている限り、悩みは尽きません。これらの諸問題のうち一部になりますが、皆さんと一緒に考えていきます。	どなたでも	11月以降にお願いします	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
46	法学部	准教授	辻上佳輝	民法法全般	遺言に関するもの 土地法制に関するもの 等 内容をご相談ください	問いません		
47	法学部	准教授	岸野 薫	違憲審査制について	その制度と実際の運用について	高校生	要相談	
48	経済学部	教授	宮脇 秀貴	ビジネスゲームで経営を体験	ビジネスゲームを用いて、企業を経営する模擬体験を行います。また、特に会計情報の活用の仕方を学ぶ体験となります。	小学校・中学校・高校生・一般	授業その他広報の仕事の関係で変わります。	
49	経済学部	教授	横山佳充	コンピュータによる統計学利用	高校生以下に、コンピュータを用いた統計学の利用の仕方やその活用方法などをまじえて解説する。	小学校、中学校、高校生	夏季や冬季における生徒などの休暇期間	コンピュータの基本操作ができることが望ましい
50	経済学部	教授	沖 公祐	貨幣の謎	私たちにとって身近なお金＝貨幣の謎を解き明かしながら、経済学の面白さをわかりやすく伝えます。	高校生	随時	
51	経済学部	准教授	大杉 奉代	経営戦略	企業の基本的方向性を設定する経営戦略に焦点をあて、これまでの経営戦略論における論点を提示し、企業の経営戦略に関するさまざまな分析手法について講義を行う。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業	要相談	
52	経済学部	准教授	高橋 昂輝	移民街の観光地化と都市政策	従来、移民街は移民の居住・生活空間でした。しかし、近年、その特性は変化し、観光地化が進行しています。カナダ・トロント市を事例として、移民街の観光地化とそれに関連する都市政策について講義します。	高校生	応相談	
53	経済学部	准教授	松岡 久美	経営学入門	経営学的な思考法について具体的な事例を交えながらアクティブラーニング形式で学びます。	小学校、中学校、高校生	応相談	要望に応じて取り上げる事例を設定します。
54	経済学部	教授	藤村 和宏	広告からマーケティングを学ぶ	お菓子メーカーのテレビ・コマーシャルを視聴し、その内容の変化からマーケティングの目的の変化を説明する。この説明を通じて、企業におけるマーケティングの役割について理解を促したい。	高校生	通年可能	
55	経済学部	准教授	天谷 研一	ゲーム理論と経済行動	人々の戦略的な駆け引きを分析する学問であるゲーム理論をわかりやすく解説する。模擬取引などの実習を通じて人間の経済行動への理解を深める。	高校生	応相談	
56	経済学部	教授	姚峰	国際観光客地域選択の社会経済要因分析	応相談	一般成人 高校生		
57	経済学部	教授	姚峰	ノーベル経済学賞と時系列関係の因果分析	応相談	一般成人 高校生		

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
58	経済学部	准教授	藤原 敦志	地域金融機関の再生	近年、厳しい状況に置かれている地域金融機関の今後の生き残りのために、どのような政策や取り組みが求められるかを、様々な観点から考えていく。	一般	特に制限なし	特になし
59	経済学部	教授	安井敏晃	保険の仕組み	我々にとってリスク処理に役立つ保険の仕組みについて概説します。もともと、保険の得する利用法をお話する訳ではありません。	高校生	後期(10月以降。但しすみませんが、学内業務のため、参加出来ない日があります)	パワーポイントが使用できる環境
60	経済学部	教授	久松 博之	大学で学ぶ統計学	高校数学Ⅰ、数学A、数学Bで学習する内容には大学で学習する統計学の基礎が含まれている。高校数学と大学で学ぶ統計学とはどのように結びついているのか説明する。	高校生	後期	パワーポイントと板書による。パソコン、プロジェクタ、ホワイトボード、マイクを使用。
61	経済学部	教授	持田 めぐみ	初めての『マクロ経済学』～モデル分析を体験してみよう!～	新聞やテレビで報じられている経済ニュースを題材として、マクロ経済モデルの分析手法を紹介します。実際にモデル分析を体験することで、世の中の出来事が私たちの経済にどのような影響を与えるか、一緒に考えてみましょう。	小学校高学年～高校生	応相談	モデル分析は、小グループごとに行ってもらいます。大学生と一緒に参加する場合があります。
62	経済学部	准教授	星野 良明	2次関数のミクロ経済学	大学の経済学部に入ったら一度は学ぶことになるだろう数学を使う経済学(特にミクロ経済学)において、高校の数学の授業で学ぶ内容が経済の分析にどのように活用されるのか、問題演習を通して学びます。	高校生	応相談	
63	経済学部	准教授	趙 命来	マーケティング発想を学ぶ	マーケティング発想やマーケティングマネジメントについて学びます。	中学生、高校生	応相談	
64	経済学部	教授	加藤 美穂子	日本の福祉国家システム	日本の福祉国家システムの基本構造と特徴を学びます。特に、社会保障制度の中軸をなす社会保険の諸制度の枠組みと課題を検討します。	高校生		
65	経済学部	准教授	山口 尚美	企業倫理を考える	社会に対して責任ある企業行動とはいかなるものかを多面的に考えていきます。	一般	応相談	
66	経済学部	教授	岡田 徹太郎	政府の役割と経済政策	経済学と経済政策、政府はなぜ必要か、政府の役割、財政政策の課題、金融政策の課題、雇用・労働政策の課題、福祉政策の課題など、依頼のトピックについて分かりやすく解説します。例: 税、年金、健康保険、雇用保険、所得再分配、労使関係など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)、公共団体、企業	随時	
67	経済学部	准教授	海野 晋悟	暮らしに役立つ金融・経済に関する知識	つみたてNISAやiDeCoなど、詳しく理解する時間が取れなくて知らないままになっている金融・経済に関する知識はたくさんあると思います。それらをできるだけ分かりやすく講義します。	小学校、中学校、高校生、一般		

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
68	経済学部	准教授	塩谷 剛	イノベーションについて考えてみよう!	近年、「企業や国家の成長にはイノベーションが不可欠である」といったようなフレーズを聞く機会が増えてきたのではないのでしょうか？本講義では、みなさんにとって身近な製品事例を通じてイノベーションとは何かについて考えていきます。	高校生	随時	
69	経済学部	准教授	福村 晃一	社会における競争	社会における様々な競争について、経済学の視点から考える。	高校生	応相談	
70	経済学部	准教授	渡邊 孝一郎	マーケティング・流通って何だろう？	流通・マーケティングの魅力を紹介します。「もし、この世の中に流通がなかったら」「ヒット商品はどのように生まれるの?」といった事を身近な例を通して学びます。	中学生、高校生	応相談	
71	地域マネジメント研究科	教授	関 庚炫	顧客起点のマーケティング戦略	マーケティングの基礎知識やフレームワークに関する解説を行うことで、顧客起点のマーケティング戦略の意味及び戦略立案過程に関する理解を深める。	マーケティングに興味のある一般の方	10月以降・応相談	
72	地域マネジメント研究科	教授	岩本 直	これからの高齢化社会を生き抜く方法を考える —高齢化社会の課題を知り、自分自身の対応方針を立てていこう—	①これからの高齢化社会に発生する課題をまとめます(介護、税収不足、労働不足等) ②①で示した課題に対する自分自身でできること、自分が社会にできることを提示します。 ③なお、本講義では健康、年金といったような個人に関するものは取り扱いません。本講義では高齢化社会到来に係る地域の課題をまず理解し、これらの地域課題に対する自分自身の対応方針等について考えていく内容となっています。	高齢者、一般社会人、高校生、大学生、主婦、企業経営者、行政及び商工会議所・商工会職員等	応相談	
73	地域マネジメント研究科	准教授	佐藤 勝典	社会起業家論	社会的企業を動かすキーパーソンである社会起業家に注目して、社会的企業の持つ「社会性」と「事業性」の視点から講義を行う。貧困、ニートや障害者など社会的弱者に関する様々な社会問題が起きている。これらの問題をビジネスの手法を用いて解決しようとする。	高校生、一般	応相談	講義内容に関心がある
74	地域マネジメント研究科	教授	西中 美和	経営学はどのように使われるのか？何の役に立つのか？	『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』を参考資料として取り上げ、経営学の考え方(理論)が実際にはどのように適用されるのかを平易に紹介する。その上で、激しく変わる現代において、「マネジメント」とは何か、いかにあるべきか、を考える。	高校生、一般	個別に調整	プロジェクター、スクリーン、マイク
75	医学部	教授	三木崇範	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響 (担当:三木崇範、鈴木辰吾、太田健一)	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	高校生、大学生、一般	応相談	
76	医学部	教授	三木崇範	アルコールが脳に与える影響 (担当:三木崇範、鈴木辰吾、太田健一)	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	高校生、大学生、一般	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
77	医学部	教授	平野勝也	生理学者と学ぶからだの仕組みと不思議 (担当:平野勝也、倉原琳、山下哲生、橋本剛)	4名の教員により、心臓、呼吸、代謝など人体生理学に関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	中高生、一般	中高生の夏休み期間中	
78	医学部	教授	平野勝也	生理学者と学ぶ細胞の仕組みと不思議 (担当:平野勝也、倉原琳、山下哲生、橋本剛)	4名の教員により、細胞生物学の視点から人体のはたらきとその仕組みに関する基礎知識を講義する。健康を考える上で生理学の重要性について理解を深める。	中高生、一般	中高生の夏休み期間中	
79	医学部	准教授	中野 大介	腎臓がどのように尿を作っているか	体における腎臓(生体維持)の大切さと腎臓がどのように尿を作っているかを説明する。	高校生～医師	応相談	
80	医学部	教授	和田健司	暮らしを支える化学	我々の社会と生活に無くてはならないエネルギーや各種製品、環境の保持には、化学が深くかかわっている。こうした化学について、実例を挙げて判り易く解説する	高校生、一般	要相談	要相談
81	医学部	准教授	横平 政直	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生のメカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	小学生から一般の方まで、対象者に合わせて講演内容を調整します。	応相談	
82	医学部	助教	成澤 裕子	病理検査とは	がん検診や病院で行われている病理検査(細胞診、組織診)とはどのようなものなのか解説します。	高校生～一般	応相談	
83	医学部	助教	田中健	顧みられない熱帯病―主に原虫病について―	熱帯地域の貧困層に蔓延している寄生虫症のうち、原虫によって引き起こされるマラリア、アフリカ睡眠病、シャーガス病などについて、その現状と対策を紹介する。	中学校、高校生、一般	応相談	公共交通機関を利用できる場所に 限る
84	医学部	教授	平尾智広	災害と健康管理	南海トラフ巨大地震などの災害発生時に必要となる健康管理の知識を紹介します。個人や家族、社員を守るために、避難所へ避難してきた人を守るために必須の事項です。	どなたでも可能	要相談	
85	医学部	教授	平尾智広	人にやさしい働き方	労働災害、過重労働、過労死から、かけがえのない人を守り、ワークライフバランスを実現し、健康で豊かな社会を実現するために、ともに考えましょう。	どなたでも可能	要相談	
86	医学部	准教授	角 徳文	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)	スケジュールに合えば随時	
87	医学部	教授	白神 豪太郎	麻酔科学、周術期医学、集中治療医学、痛み医学、緩和医学に関するテーマ (担当:白神豪太郎、中條浩介、浅賀健彦、山上有紀、別宮小由理、澤登慶治、築瀬賢)	手術の麻酔、手術による痛みの緩和、重症患者のケア、慢性痛、癌性痛など			

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
88	医学部	教授	前川 泰子	やさしい身体の動かし方	自力で動けない人の身体を動かす際、人の本来の自然な動きを知ることで、負担を少しでも軽減することができる。その基本的な動きを説明する。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)	後期	座位、臥位など身体を動かせるスペース
89	医学部	教授	清水 裕子	カンボジア国における学校保健教育を通して国際支援のあり方を考える (担当: 清水裕子)	2017年3月から香川大学が香川県、JICA、カンボジア教育青年スポーツ省と連携してカンダール州における学校保健支援事業を実施している。35年ほど前に内戦を経験したカンボジアが未だ直面している教育課題への、国際的な相互支援のあり方をおし、平和を考える。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)、企業、教育関係者	随時	プロジェクション環境
90	医学部	助教	西村 美穂	地域でいきいきと生活している高齢者と児童の交流について	引退後も、地域のために役割を持っていきいきと生活している高齢者に参加していただき、児童との交流を促す。交流によって、地域社会の中で、互いに繋がり、支え合っていることを感じることができるようにする。	小学校4年生以上	5、6、8月に可能	
91	医学部	助教	森河 佑季	認知症とは	認知症をもつ人への理解を目的として、認知症の症状や家族が認知症になったらどのような対応をしていくと良いか等を症例を挙げ、質問しながら講義を行う。	小学5年生以上		5. 6. 8月可能
92	医学部	教授【寄附講座】循環器・腎臓疾患地域医療学講座	辻 哲平	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用法について説明します	1)小学生・中学生・高校生・大学生 2)教員・管理者 3)一般 4)企業	応相談	
93	医学部	准教授	宮武 伸行	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)メタボのはなし、2)糖尿病のはなし、3)熱中症のはなし、4)高齢者の健康のはなし、5)運動のはなし、6)食事のはなし、7)こころのはなし、8)尿検査、便検査のはなし、9)たばこのはなし、10)健康診断のはなし、11)高血圧と生活習慣のはなし、12)がん予防のはなし、13)食中毒のはなし、14)ジュースのはなし、15)うんこのはなし、16)すいみんのはなし	1)～13)は中学生以上、14)～16)は小学生対象	応相談	運動実技のある場合があります。社会人大学院生等の参加の場合もあり。小学生は20分程度から柔軟に対応します。
94	医学部	客員教授	塚本 郁子	くすりの効き方・効かせ方	有用な作用を持つ化学物質を「くすり」にするためにどのような事が考慮されているのか、副作用を抑えてその効果を最大限に引き出すためにどのような工夫がなされているのか、等について解説します。薬学、薬剤学、DDSの入門編。	中学生～一般	随時	
95	医学部	客員教授	塚本 郁子	体と気体の関わり-医学薬学における物理化学的視点-	呼吸は生きていくための絶対条件。気体は体の中でどのように働くのか、普段の呼吸、吸入麻酔薬の作用、揮発性物質による中毒と呼吸の関係などについて実験結果を交えながら解説します。	中学生～一般	随時	
96	医学部	准教授	新井明治	身近な寄生虫病	アニサキス症や蟻虫症など、現在の日本で問題となっている寄生虫疾患についてわかりやすく解説します。	どなたでも対応可能	日程調整が必要	プロジェクターとスクリーン(少人数であれば大型テレビでも可)
97	医学部	准教授	新井明治	身近な危険生物	いろいろな感染症を媒介する蚊やマダニをはじめ、セアカゴケグモやヒアリなどの有毒生物についてわかりやすく解説します。	どなたでも対応可能	日程調整が必要	プロジェクターとスクリーン(少人数であれば大型テレビでも可)

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
98	医学部	教授	藤原祐一郎	生体の電気信号	脳や心臓の活動を担う、生体の電気信号についての理解を深める。	高校生以上 理系学生	応相談	
99	医学部	教授	橋本忠行	こころの理解と支援	臨床心理学ではこころの理解について「心理アセスメント」という言葉を使います。問題や症状の側面だけではなく、長所や資質のような肯定的側面にも注意を払うべきだという意味が込められています。その実際を体験し、支援につながる方法を考えます。	高校生、地域の市民の方々	応相談	依頼に合わせて調整します
100	医学部	教授	松本 啓子	在宅での暮らしを支えるケア	地域包括ケアシステム構想の進む中、疾患や障害を持ちながら在宅で療養する方は多い。その方々の思いに着目したうえで、在宅療養者とその家族の暮らしを支えるケアについて考える。	一般	随時	
101	医学部	教授	松田 陽子	膵臓がんの病理	難治性の膵臓がんについて一般的な原因や症状、検査、治療方法とともに、自験例の病理学研究を解説します。	高校生～一般	応相談	映像設備(プロジェクター等)あり
102	医学部	教授	松田 陽子	加齢とがん	なぜヒトは年を取るとがんになるのか、またその予防方法や対策について、最新の知見を解説します。	高校生～一般	応相談	映像設備(プロジェクター等)あり
103	医学部	助教	高橋 弘雄	神経細胞の発達の仕組み	私たちの脳では、神経細胞が複雑なネットワークを形成している。神経細胞の発達や、神経回路の形成メカニズムについて、最新の知見を踏まえて概説する。	高校生以上	応相談	
104	医学部	准教授	野口 修司	心理学って何？	「心理学」とはその名のとおりに、「心を理解する学問」ですが、その研究の範囲はとても広いです。そこで、心理学における様々な分野の研究から代表的なものをいくつかピックアップし、分かりやすく紹介していきます。	中学生・高校生	応相談	
105	医学部附属病院	講師	祖父江 理	臓器提供・臓器移植について (担当:祖父江理、西島陽子、守時政弘)	臓器提供に関する啓発です。	主に中高生	要相談	
106	医学部附属病院	准教授	白神千恵子	加齢黄斑変性	疾患説明と治療	中高齢者	8月	
107	医学部附属病院	講師	奥山 浩之	膵臓がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	膵臓がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	一般	要相談	
108	医学部附属病院	講師	石川 かおり	1)たばこの健康被害について 2)静脈血栓塞栓症について	1)タバコの健康被害について(小学生・中学生向け) 2)静脈血栓塞栓症(下肢静脈血栓症と肺塞栓症)について(一般向けの健康講座)	1)小学生、中学生 2)一般	応相談	
109	医学部附属病院	講師	村上 和司	虚血性心疾患とカテーテル治療について	虚血性心疾患とカテーテル治療について説明します(一般向け)	一般	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
110	医学部附属病院	教授	柴田 徹	①がんについて、②放射線について、③新しいがん治療の進歩について (担当: 柴田徹、高橋重雄)	①がんについて学び、がんを通して命の大切さを知る ②放射線について正しく理解する、③がん治療の進歩。医学・医療について(受講対象者に応じて内容の変更は可能です)	小・中学生から理系・医療系を志望する高校生まで(および保護者可)	応相談	
111	医学部附属病院	看護師長	國方 美佐	すぐにできる！心肺蘇生法	一般市民や子どもたちを対象に、すぐに活用できる心肺蘇生法を分かりやすく教えます。父兄のみや、父兄+お子さまもOKです。人形やデモのAEDを使って、心肺蘇生法を経験してみましょう。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)、企業	対象者の希望に応じて応相談	特になし。決定後、個別に対応。
112	創造工学部	教授	荒川 雅生	最適化の使われているところ	最適化という技術は、例えば、宇宙産業の場合、軽量化することを目的とした最適化が盛んにおこなわれていました。現在では、自動車の部品の開発などにも使われています。どのように実際に最適化が入り込んでいるのかを説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
113	創造工学部	教授	井藤 隆志	プロダクトデザインについて	プロダクトデザインとは我々の身近にある様々なモノにカタチを与えることです。この講義では実際にデザインされた身近な家電製品、自動車、家具、食器などを事例に、どのような背景や考えでデザインされたかを1点ずつ手を取りながら紹介していきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
114	創造工学部	教授	大場 晴夫	テクノロジーの進化とデザイン	デジタル化とネットワーク化が急速に進む今、デザイナーがその課題の提起や解決のため取り組んできたさまざまな作品や活動を実例を通して紹介していきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
115	創造工学部	教授	林 敏浩	e-Learning は、いいラーニング？	教育は比較的古い時代からICTの利活用が行われてきた分野であり、2000年頃からe-Learningという言葉が一般的になってきました。この授業では、e-Learningの特徴を説明しながら、e-Learningを利用する学習者として気をつけなければいけない点などにも触れたいと思います。	高校生、一般など、応相談	随時	
116	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	デザイン思考とクルマのデザイン	企業は高性能・多機能の「機能的価値」に加え、顧客の趣味・センス・経験に合っているという「意味的価値」を含めた”統合的な価値”を高めていくことが求められています。「統合的価値」を創り出すアプローチとして「デザイン思考」があり、この考え方をクルマのデザインに応用した例を通してその手法を説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
117	創造工学部	准教授	後藤田 中	スポーツにおけるICT援用	テレビでも、いくつかの競技において、コーチや監督がタブレットを片手に選手に戦略を指示するシーンも目につくようになってきました。現代のスポーツのICT援用技術の紹介と、今後のICT技術を活用したスポーツの未来像について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
118	創造工学部	准教授	後藤田 中	「ビデオ映像からのスポーツ分析 - ヒトの動きを解析する -」	スマホや家庭用ビデオカメラで撮影されたスポーツ現場でのヒトの動きが入った映像を対象に、家庭用パソコンとインターネットで入手可能なフリーソフトを用いて、簡単に分析できる方法について実例を用いながら学びます。	・ビデオ映像からPCを使って映像分析に取り組みたい学生(中学生以上)・または体育系の部活動などに取り組む子を持つ親 ・簡単なデータ分析に取り組みたい地域スポーツの指導者・体育系部活動顧問など ・教養として、世の中のスポーツ分析をどうやっているのか興味がある者	応相談	
119	創造工学部	准教授	杉本 洋一	チームワーキングの視点	実際のチーム活動において、常に状況適応的・相補的な協働をすることは容易ではありません。そのため、どのような視点を待てば、相補的な協働が進みやすくなるのかについて、気づきのヒントになる知見を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
120	創造工学部	講師	國枝 孝之	映像メディアと映像検索	映画やテレビ放送をはじめ多くの映像メディアが巷に溢れています。映像情報とはどのようなものか？を解説します。さらに映像の内容を探すにはどのようにすれば良いか？と言ったことを一緒に考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
121	創造工学部	講師	柴田 悠基	アートプロジェクトについて	日本各地で展開される地域アートプロジェクトや海外の同様事例の歴史や作品、アートと地域・社会のさまざまな関係性について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
122	創造工学部	教授	石塚 正秀	地球・都市の「水」と「空気」の環境と災害	未来の地球・都市の環境変化とリスク回避のために何を考えることが大切なのか、「環境」を理解することの面白さと不確かさについてお話したいと思います。	高校生、一般など、応相談	随時	
123	創造工学部	教授	角道 弘文	ため池の環境と様々な役割	ため池は産業や生活に欠かせない水を蓄える人造湖です。ため池は人工構造物でありながら多様な生物の生息を支えているのですが、ため池の成立過程、特徴、立地環境などを踏まえ、ため池の魅力について探っていきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
124	創造工学部	教授	末永 慶寛	豊かな海を創造する環境改善技術	瀬戸内海沿岸域の都市化や各種開発に伴う流入負荷の増大は、様々な環境問題を引き起こしています。本講義では、水産資源の生産力を向上させ、好適な生物生息場の提供と「豊かな海」を創造するための技術を解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
125	創造工学部	教授	寺林 優	フィールドワークで地球を探る	地球の過去を調べることによって未来を予測することが、地表の岩石を調べることによって地球の深部での出来事を明らかにすることができます。世界各地でのフィールド調査を写真などで紹介し、何をどのようにして明らかにしたかを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
126	創造工学部	教授	山中 稔	地盤災害の発生メカニズムと防災対策	地盤(土)が引き起こす災害現象としては、台風・豪雨時の土石流や斜面崩壊、地震時の液状化現象やため池決壊等があります。この講義では、台風や地震が引き起こす地盤災害の発生メカニズムや、その防災対策について学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
127	創造工学部	教授	吉田 秀典	都市環境と数値シミュレーション	多数の建物を含む都市全体の地震動解析、津波、高潮、ため池の決壊等による都市全体の浸水解析、災害時における住民の都市内避難行動解析などが可能となっています。都市の「安全度診断」に一翼を担う数値シミュレーションの世界を紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
128	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	頑丈で長持ちする建物のつくりかた	建物の中に居住している人間が、地震時であっても無事であるためには、建物が頑丈であり、この頑丈さが長続きしなくてはなりません。この講義では、頑丈で長持ちする建物のつくりかたについて学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
129	創造工学部	准教授	宮本 慎宏	歴史的建造物の保存と活用	神社や寺に代表される日本の歴史的建造物は、地域のシンボルとして大切に受け継がれてきました。このような歴史的建造物の修復方法や活用方法とともに、地震や台風などの自然災害から建物を守る技術について紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
130	創造工学部	講師	玉置 哲也	不確実性と地球温暖化問題	世界的にも注目されている地球温暖化ですが、我々は何をするべきなのでしょう。不確実な事象のとらえ方を考えるとともに、地球温暖化の影響やその対策について紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
131	創造工学部	准教授	中島 美登子	建築環境とユニバーサルデザイン	少子高齢化により福祉、医療などへの対策が重要な課題となっています。すべての人が安心して快適に暮らせることを目指す福祉の視点から、ユーザー本位の施設づくりやまちづくりについて調査事例をもとに紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
132	創造工学部	講師	守屋 均	人間活動と植生の変遷	昭和30年代以降、エネルギー源は木質燃料から化石燃料や原子力へ転換していきました。時代とともに移り変わってきた人間活動と植生の関係や、香川県における近年の植生の変化について紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
133	創造工学部	講師	釜床 美也子	四国の歴史的建造物	近年の歴史的建造物に関わる動きとして、建造物単体だけではなく、歴史的な町並み景観や、文化的な集落景観の視点から、まちづくりとして保存活用を目指す動きが活発化しています。四国で注目されている魅力的な建造物や景観の事例をご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
134	創造工学部	教授	井面 仁志	災害状況再現・対応能力訓練システム	災害状況再現・対応能力訓練システムは、3D-VR(3次元バーチャルリアリティ)を用いて、想定を超える災害状況を再現しします。その一つとして、小学校の先生を対象とした避難訓練シナリオを紹介しします。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
135	創造工学部	教授	梶谷 義雄	実践、日常生活におけるリスクマネジメント	過去に起きた大災害などの事例集を用い、世の中に溢れるリスクの特徴をご紹介します。普段知らず知らずのうちに実施している皆様のリスクの取扱いを比較したり、ゲーム型のリスクシミュレーションを実施したりすることで、リスクマネジメントに関する気づきの場をご提供します。	高校生、一般など、応相談	随時	
136	創造工学部	教授	長谷川 修一	地域の災害特性を知ろう	災害から身を守るには、自然災害の知識だけでなく、地域の災害特性を知る必要があります。地域の災害特性は、ある程度地形から知ることができます。災害列島における暮らし方を考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
137	創造工学部	准教授	野々村 敦子	空間情報の役に立つ使い方	災害直後には道路が寸断され、現場に行くことが困難ことがあります。現地の状況および過去から現在に至る変化を広範囲において捉えるために有効なリモートセンシング技術と地理情報システム(GIS)についてご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
138	創造工学部	准教授	高橋 享輔	社会に役に立つ情報システムとは？	本講座ではソフトコンピューティング(ニューラルネットワーク、遺伝的アルゴリズム、マルチエージェントシステム、セルオートマトン等)や Web システム開発技術を活用した応用アプリケーションの開発事例を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
139	創造工学部	教授	安藤 一秋	ことばをコンピュータで処理する技術	近年人口知能(Artificial Intelligence:AI)が注目を集めています。自然言語処理は人工知能を実現するための重要技術の一つです。自然言語処理の歴史や基礎技術、応用技術など、広く浅く紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
140	創造工学部	教授	今井 慈郎	2進数の世界	コンピュータは2進数で動いていると言いますが、何故「2進数」が選ばれたのでしょうか？「2進数(Binary)の世界(要するに「0、1」の世界)」について一緒に考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
141	創造工学部	教授	今井 慈郎	情報処理や情報伝達の可視化について	コンピュータによる情報処理の流れやネットワークにおける情報伝達の流れを「可視化」して分かり易く説明します。e-Learningツールを使用して基礎的かつ具体的に情報処理・伝達の流れを可視化して紹介することもできます。1時間以内であれば、「可視化」のテーマを1つに限定して紹介することも可能です。	高校生、一般など、応相談	随時	
142	創造工学部	教授	最所 圭三	コンピュータを覗いてみよう	コンピュータは世の中の中の至る所で様々な形で使用され世の中を支えています。これらのコンピュータの仕組みやデータの取り扱い、コンピュータを動作させるためのオペレーティングシステムなどについて解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
143	創造工学部	准教授	香川 考司	プログラミングの世界	コンピュータはプログラムという指令がなければ動きません。コンピュータのプログラムとはどういうものか大雑把に説明するために、お絵かきを題材にしたプログラムを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
144	創造工学部	准教授	喜田 弘司	AI(人工知能)社会に向けて、何を勉強すべきか？	人工知能を活用すれば、交通事故を激減させ、ハッカーによるサイバー攻撃に対抗でき、スポーツだって劇的に強くなる可能性があります。人工知能の本質と、今、学生が何を勉強すべきかを説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
145	創造工学部	准教授	喜田 弘司	表計算ソフトウェアでAI(人工知能)を体験	人工知能により、データから将来を「予測」したり、画像から人を「認識」したり、購買情報から商品を「推薦」したりできるようになりました。こういったことをどのように実現しているのか、その仕組みを、表計算ソフトウェアで体験してもらいます。	高校生、一般など、応相談	随時	
146	創造工学部	准教授	高木 智彦	ソフトウェアの高信頼化に関する技術	ソフトウェアの欠陥(バグ)はコンピュータの誤動作を引き起こし、時に利用者や社会に重大な影響を与えます。本講座では、ソフトウェアの開発工程において欠陥を効果的に見つけ出し、高い信頼性を実現するための技術について紹介します。	高校生、一般など、応相談		
147	創造工学部	准教授	富永 浩之	情報処理の考え方	トランプを使ったゲーム感覚のグループ作業を行います。コンピュータに命令を伝えるアルゴリズムや、ソフトウェアを作成するときの設計の考え方を、コンピュータを使うことなく体験的に学習します。	高校生、一般など、応相談	随時	
148	創造工学部	准教授	富永 浩之	ゲーム課題による LEGO プログラミング	LEGOロボットをコントロールするプログラムを作成し、ゲーム課題に挑戦します。4人程度で1グループを組み、演習形式で進めます。マウスで画面上のブロックを組み立てる簡単な操作で、プログラミングの手順や考え方を体験します。	高校生、一般など、応相談	随時	
149	創造工学部	教授	八重樫 理人	地域活性化のための情報技術活用について	八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダポス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」の開発を通して得た知見から、地域活性化のための情報技術活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
150	創造工学部	教授	八重樫 理人	教育における情報技術の活用について	情報技術は教育の高度化・豊富化を実現する技術として注目されている。香川大学が実践した情報技術を活用したさまざまな教育実践を紹介するとともに、教育機関における情報技術の活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
151	創造工学部	助教	米谷 雄介	ミニハッカソンを通じた創造的ゲームづくり体験	文法知識が不要なプログラミング言語学習環境 Scratch を活用したミニハッカソンを通じて、アイデアを形にする楽しさを体験します。	高校生、一般など、応相談	随時	[モデル授業] (1) 機能を作るとはどういうことかを 知る(50min) (2) ダーティプロトタイプから始めよう (50min) (3) ワールド・カフェで価値を高めよう (50min) (4) プロダクトをリリースしよう (50min) [必要環境/事前相談] Scratchを利用するのでインターネットに接続可能なパソコンまたはタブレットが必要です(台数:参加者数÷2+ 予備2~3台以上)。モデル授業はすべて行なった場合です。(1)のみ、(1)・(2)のみなどの形態も可能です。普段Scratchに親しんでいる生徒さんであれば、(2)から開始することもできます。

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
152	創造工学部	教授	北島 博之	ペットボトルを使った協調運動	ペットボトルのふたに穴をあけてひっくり返すと【水が落ちる】⇔【空気が入る】を繰り返します。それでは、2つのボトルをチューブでつなげるとどうなるでしょうか？ 実験をして確かめてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
153	創造工学部	教授	神野 正彦	光ファイバ通信のしくみ	この講座では、光信号はどうやって作られるのか、光信号がどうやって光ファイバで運ばれ、地球の裏側まで情報が伝えられるのかを分かりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
154	創造工学部	教授	丹治 裕一	電気を作り、送ること	生活の中で何気なく使っている電気が、どのように作られ、送られているかを知ることは、私たちが直面しているエネルギーの問題を理解・解決していくために、大いに役立つと思います。これらの仕組みについて、分かりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
155	創造工学部	教授	堀川 洋	ニューラルネットワーク	Deep Learning(深層学習)は1980年代にブームを巻き起こしたニューラルネットワークの進化版です。ニューラルネットワークとDeep Learningとはどういうものかについて解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
156	創造工学部	教授	丸 浩一	光の干渉を計測や通信に活かす	光を適切に混ぜ合わせて干渉させることで得られるさまざまな現象が、計測、通信、医療などの幅広い分野に活かされています。本講義では、光干渉を利用した速度計測技術や通信に用いられる光デバイスをご紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
157	創造工学部	教授	三木 信彦	ケータイのつながる仕組み	生活必需品となりつつある携帯電話ですが、どうやって、どこにいても電話をかけたか、かかったりするのでしょうか。このつながる仕組みについて説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
158	創造工学部	准教授	浅野 裕俊	生体情報を利用した機器とその可能性について	我々の身体から得られる心拍や脈拍といった生体情報を利用した機器は健康管理以外にも様々あります。本講義では、身近な例を挙げて、機器とその可能性についてわかりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
159	創造工学部	准教授	石井 光治	電気通信今昔ものがたり	電磁気現象の発見を契機に始まった電気通信の歴史とそれを支える技術について説明します。有線通信から無線通信への移り変わり、携帯電話開発の裏話、最近の無線通信技術を応用した環境保護や医療技術についても紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
160	創造工学部	准教授	藤本 憲市	人体内部を視る機器の仕組みと要素技術	人体の輪切り画像を生成するCT(コンピュータトモグラフィ)機器、眼の奥を撮影する眼底カメラなど、病院等で使用されている医用画像機器には電子・情報工学に関するさまざまな技術が用いられています。これら医用画像機器の仕組みや要素技術を分かりやすく説明します。	高校生、一般など、応相談	随時	
161	創造工学部	講師	小玉 崇宏	光信号の盗聴防止を目的としたセキュリティ技術	Iot社会が進む中で多種多様なデータ情報が光通信で扱われるようになり、データを守るための物理的なセキュリティ技術が目立っています。光通信の信号について説明し、光ファイバ内で送られる信号を隠す技術をいくつか紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
162	創造工学部	准教授	松下 春奈	人工粘菌アルゴリズムで迷路を解こう！	粘菌(アメーバ)は、迷路内の離れた2点に餌を置くと2点間を結ぶ最短経路に変形することが知られています。このような粘菌をモデル化した人工粘菌アルゴリズムと迷路実験への応用などを紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
163	創造工学部	教授	石丸 伊知郎	光の色鉛筆 -光の不思議と生体医用計測への応用-	不思議な光の基本的な性質と、光を用いた生体医用計測技術の研究について講義します。この光による計測は、日常的な健康管理や、ガンなどの早期診断に役に立つ技術です。	高校生、一般など、応相談	随時	
164	創造工学部	教授	郭 書祥	血管手術カテーテル遠隔操作支援システムに関する研究	本学の医・工学部の連携により、最先端の医療支援技術開発システムである「低侵襲脳外科血管手術支援システム(高機能シミュレーター)」の開発等を通じて、脳神経外科手術を遠隔支援します。最先端の医療・健康支援システム手術支援システムを開発することにより、安全安心で快適な社会の構築に貢献できます。	高校生、一般など、応相談	随時	
165	創造工学部	准教授	石原 秀則	窓ふきロボット	窓に張り付いて窓掃除をするロボットを例に、ロボットを実現するために必要な技術や知識を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
166	創造工学部	准教授	佐々木 大輔	着るロボットとは!?	高齢化社会の到来によって生じている様々な問題を解決する方法として、直接身につける「ウェアラブルロボット」の開発が盛んに行われています。服のようなソフトな着心地のウェアラブルロボット開発に関する研究事例を紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
167	創造工学部	准教授	寺尾 京平	ナノの世界から見た機械と生き物	髪の毛の太さの一万分の一、ナノメートルの領域から見ると、細胞の中ではたらく、さまざまな分子機械が見えてきます。最先端の研究を紹介しながら、機械の視点からみた生き物、特に細胞のはたらきについて解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
168	創造工学部	准教授	吉村 英徳	新幹線の先端や日本刀の造り方	新幹線の先端のような曲面の大きなパネルや日本刀のような硬い刃は、削って作るのではなく、ハンマーで叩いて形を変えたり、加熱冷却して鍛えたりして材料を加工します。変形させて作る加工技術について紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
169	創造工学部	教授	石井 知彦	化学結合・化学反応・化学安定性を支配する電子	分子は、化学結合によって原子同士が結びつくことで構成されています。電子が分子の表面にどのように分布しているのかを調べることで、さらに分子同士の化学反応や分子の安定性などについて理解することが出来ます。	高校生、一般など、応相談	随時	
170	創造工学部	教授	掛川 寿夫	真のアンチエイジングを学ぼう	地球上の歴史における化学物質の進化プロセスに病気発生やエイジング(老化)現象の要因が隠されています。生命の起源である化学進化をたどり、その中で発見された機能性化合物を利用した機能性化粧品等の実用化は魅力的な研究開発の一つです。	高校生、一般など、応相談	随時	
171	創造工学部	教授	馮 旗	太陽光発電とクリーンエネルギー	エネルギーと環境との関連、環境にやさしい太陽電池等の太陽光発電技術開発の現状と未来をわかりやすく解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
172	創造工学部	教授	舟橋 正浩	液晶の世界	液晶は液体と結晶の中間の性質を持っており、コンピューターやテレビのディスプレイに使われています。自然の中でも、コガネムシの羽など、色々な所に液晶が活躍しています。液晶ディスプレイと自然の中の液晶について、わかりやすくお話しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
173	創造工学部	准教授	上村 忍	界面での分子の動き	人間の皮膚は、酸素を取り込んだり、二酸化炭素や汗を放出、といった機能を有しています。皮膚のように異なる環境と接する最表面とその近傍を界面といい、様々な機能を生み出す場となっています。界面での分子の挙動や現れる性質に関して紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
174	創造工学部	准教授	磯田 恭佑	化学と芸術	化学者は人類の生活を豊かにし、芸術家は人類の文化を豊かにしてきました。さて、無理矢理接点を持ってみては面白いのでは？化学や芸術を支えた人物、材料およびそれらの関係性をお話しします。	高校生、一般など、応相談	随時	
175	創造工学部	教授	楠瀬 尚史	すごい材料といえばセラミックス！～エンジン材料から電子材料まで～	人類が最初に作り出した材料は、粘土を固めて焼いた陶器(土器)と呼ばれるセラミックスです。現在では様々な改良が加えられて、私たちの生活を支える最先端の耐熱材料や電子材料に進化しています。	高校生、一般など、応相談	随時	
176	創造工学部	教授	田中 康弘	身近な生体・歯科材料と電子顕微鏡で見る原子の世界	口腔内の衛生状態が悪いと虫歯や歯周病になります。欠損した歯を補う材料にも様々なアイデアや技術が盛り込まれています。本講義では、身近な生体材料をもとに材料に要求されることを考えていきます。	高校生、一般など、応相談	随時	
177	創造工学部	教授	松本 洋明	強い金属材料の仕組み(強化法、製造方法)	金属材料の研究開発は環境を配慮した軽量化・高強度化・機能化に向けた進展が強く要望されます。この講義では自動車や飛行機に使用される金属材料の強さの秘訣と強くするための手法を学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
178	創造工学部	教授	若林 利明	摩擦のコントロール	もし摩擦がなかったら、滑って歩くことはままならないし、はなはだ困った事態に陥ります。摩擦という現象の基礎的な知識に触れながら、それがどのようにコントロールされ、先端技術や環境問題への対応にどう応用されているかを解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
179	創造工学部	講師	松田 伸也	16～17世紀に活躍した偉人たちの意外な「材料の強さ」に関する業績	瀬戸大橋の設計はレオナルドダヴィンチやガリレオガリレイの意外と知られていない業績が活かされています。偉人たちの意外な業績や、その業績が現代のものづくりのどこに活かされているのかを実例を挙げてわかりやすく解説します。	高校生、一般など、応相談	随時	
180	創造工学部	教授	小柴 俊	空気がなくなると—真空技術—	地上には空気がありますが宇宙にはありません。それを作り出す真空技術は宇宙開発にもインスタント食品にも使われています。講義では真空状態の様子や真空技術の紹介をします。	高校生、一般など、応相談	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
181	創造工学部	教授	須崎 嘉文	ヒット商品と科学技術	最近のヒット商品にはどのようなものがあるのだろうか？ どのようにしてヒット商品が生まれるのか？ これらの疑問について答え、科学技術および材料創造工学との関係、技術者の仕事についてわかりやすく紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
182	創造工学部	教授	鶴町 徳昭	光と物質の不思議な世界	20世紀三大発明の一つであるレーザーを用いた簡単な実験を行います。レーザー光線で風船を割ることは可能か？ 物質の様々な色と光の吸収の関係はどのようなものか？ などについて量子論を基に解説いたします。	高校生、一般など、応相談	随時	
183	創造工学部	准教授	宮川 勇人	磁石のしくみと磁性材料	なぜ磁石にひきつけられるものと、そうでないものがあるのでしょうか？ 磁石のしくみと機能について解説し、電気モーターなど、我々の身の回りで応用されている幾つかの磁性材料についてわかりやすく紹介します。	高校生、一般など、応相談	随時	
184	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	クルマのコンセプトとデザインについて ―その歴史と考え方―	クルマのデザインの歴史の中から、クルマの進歩、特に技術やクルマのコンセプトの考え方を述べる。この中でイノベーションは突然生まれてきているのではなく、過去にその原型があることを学んでいただく。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
185	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	自動車の電動化と環境問題を考える	20-30年後のモビリティ社会における自動車の電動化(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車、など)を取り上げ、環境問題(CO2低減と排気ガス浄化)との関連を含めた開発の歴史と今後の動向を説明する。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
186	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	20-30年後のモビリティ社会における自動運転技術の役割―高齢社会変革の鍵となるのか？―	20-30年後のモビリティ社会における自動運転技術を取り上げ、その開発の歴史を述べる。自動運転技術を人間中心デザインの視点から再構成することによって、高齢社会の変革に一石を投じる可能性について説明する。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
187	創造工学部	教授	長谷川 修一	地域の災害特性を知ろう	災害にあってからハザードマップ見たのでは遅すぎます。本講座ではご依頼の地域のハザードマップを教材に、なぜそのような災害が想定されるかを、大地の成り立ちから解き明かします。	一般成人、中高生	応相談	
188	創造工学部	教授	長谷川 修一	讃岐ジオパーク構想による地方創生	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介します。	一般成人、中高生	応相談	
189	創造工学部	教授	吉田 秀典	土壌汚染や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法の説明を通して、環境保護の重要性と悪化した環境の修復の重要性を学んで頂くのと同時に、環境保全や環境修復には、科学的な手法が重要であることを理解して頂く。	中学生以上	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
190	創造工学部	教授	八重樫 理人	社会を支える情報技術	情報技術を社会を支える必要な基盤技術である。香川大学八重樫研究室では、社会課題の解決をめざした情報システムを開発している。八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダボス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」を紹介するとともに、社会における情報技術の役割について講義する。	高等学校	応相談	
191	農学部	教授	加藤 尚	植物のアレロパシーについて	すべての植物は、他の植物との間で栄養等をめぐる生存競争をしています。植物は、アレロパシーという方法で、この生存競争で優位にたとうとしています。このアレロパシーについて解説します。	高校生		
192	農学部	教授	京 正晴	植物細胞の個体発生能力	このテーマは通常の栄養繁殖とは違って、自然界では稀な現象です。しかし培養環境においてその能力をうまく引き出せば、新しい育種法や効率の良い遺伝子組換え技術を開発できるかも知れない、という話です。	高校生以上	講義、実習期間と重ならない時期	高校生物を履修中または履修済であること。
193	農学部	准教授	古本敏夫	植物色素の色を変える	植物(花や根、食品や生薬など)に含まれている色素についての話と、酸や塩基を用いて色素の色が変わる様子を体験する。	小学校、中学校、高等学校	個別に調整します	小学校の場合、内容等により、先方の責任で安全等の配慮をお願いします
194	農学部	教授	五味剣二	植物科学入門	身近な植物を材料にし、簡単な実験を体験することによって、生物学を魅力的な学問として感じてもらう。	小学生(3年生以上)	応相談	
195	農学部	教授	合谷 祥一	食品のおいしさ	食品のおいしさ、化学的味(いわゆる味)、物理的味(食感など)について、分かりやすく解説します。	高校生、一般、食品関係の企業		
196	農学部	教授	合谷 祥一	さぬきうどん歴史とコシ	香川県民はうどんが大好きで、その消費量は日本一です。本講義では以下について解説します。 1: 皆さんが毎日のように食べているうどん(さぬきうどん)の歴史や現状 2: うどんのコシとはどの様なものか。茹で延びとはどんな現象か 3: 伊勢うどんなどの他のうどんと食感はどう異なるか	中学校生、高校生、一般	要相談	
197	農学部	教授	佐藤正資	農業のはなしー食の安全・安心の理解のために	農業は私達の豊かな生活を担う重要な物質です。本セミナーでは「食の安全・安心」を理解するために役立つ農業の話題についてお話しします。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)		
198	農学部	教授	山田佳裕	香川の水環境、農業と水、水辺の生物 等	水資源に乏しい香川県の水環境は、他の地域と違った特徴を持っています。水域の生態系や水質を解説するとともに、農業と水の関係について考えます。	特に制限無	随時	プロジェクター
199	農学部	准教授	小杉祐介	エチレン — 植物の成熟・老化ホルモンとしてののはたらき	私たちが普段食べている野菜や果物、花瓶に生けて観賞する切り花などは新鮮さがとても重要です。本講義では、このような園芸産物の鮮度や熟度と、植物ホルモンの1つであるエチレンの関わりについて解説します。	高校生	要相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
200	農学部	准教授	松本由樹	おいしいお肉の向こうには…	鶏肉や鶏卵生産の裏側には、農家・研究者・行政獣医師の皆さんの工夫や苦勞のおかげである。「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」を知り、現状をお伝えするとともに最新研究を紹介する。	小学校、中学校	随時	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
201	農学部	准教授	松本由樹	おいしいお肉の向こうには…	素材の組み合わせにより吸血ダニを捕殺する技術を開発し、薬剤に頼らず被害低減できた。生物多様性に配慮しつつ、国際的な捕獲調査が可能となった。全世界で活躍する畜産・獣医教育での活用事例を紹介する。	高校生	随時	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
202	農学部	教授	深井誠一	どうして花は咲くのだろう	私たちの馴染みの深い花たちが季節ごとに咲く仕組みを優しく解説します。	高校生、一般		急なお申し出には対応できないことがあります。
203	農学部	教授	深田和宏	身の回りの化学物質	日常生活で使われている化学物質を取り上げ、我々の生活が化学製品の恩恵をどれだけ受けているかを考える。具体的例として洗剤と甘味料に焦点を当て、その製造法や性質、環境や健康に対する影響などを説明する。	一般および高校生	応相談	
204	農学部	准教授	杉田左江子	お米の起原、品種改良について	私たちの主食であるお米がどのようにして作物として利用されるようになったのか、また、お米の品種改良の方法について紹介します。	高校生、一般	応相談	
205	農学部	教授	川村 理	食の安全(食品添加物、残留農薬、放射性物質、カビ毒、食中毒、身の回りの毒など)	食の安全を脅かす事柄が多く報道されていますが、必ずしも科学的に正しい情報とは限りません。科学的に正しい食の安全についてわかりやすく講義します。	高校生以上、一般の方	随時可能。日時や講演内容・時間については事前にご相談下さい。	液晶プロジェクターとスクリーンが必要
206	農学部	教授	川浪康弘	植物が持っている香りの話	植物はそれぞれ特有の芳香を持っているが、昆虫を引き寄せ受粉を託したり、逆に害虫を寄せ付けないよう植物を守るために香りを産出すると考えられている。これらの香り成分について、分かりやすく説明する	中学生、高校生、一般	要相談	
207	農学部	教授	田中直孝	微生物から人まで、細胞機能の巧妙な仕組みを眺める	微生物や人などの細胞レベルの解析から分かってきたタンパク質の役割が、細胞の機能に巧妙に繋がっている様子をアニメーションなどを見ながら紹介します。	高校生から一般	個別に調整します	PCがつながるプロジェクター
208	農学部	教授	田淵 光昭	微生物とヒトとの関わり-発酵食品、病気、バイオテクノロジー-	講演では、微生物の基礎、応用、微生物による病気そして最新のバイオテクノロジー(ゲノム編集)に至るまで幅広く人類と微生物との関わりについてお話したい。	中学生、高校生、一般	応相談	
209	農学部	准教授	小林剛	香川県の森林の特徴と植物の生態	香川県の森林の現状と諸問題、里山に生育する植物の生活、竹林の拡大の影響とその対策、ほか	小学生～一般;企業(対象者により内容を調整します)	主として大学の通常カリキュラムの講義実施期間・時間外	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
210	農学部	教授	市村和也	おもしろ植物サイエンス実験	本講座では植物から色素を取り出したり、顕微鏡を使って植物組織を観察したり、また植DNAを取り出して目で見てみるなど、植物科学の面白さを体感しつつ遺伝子も身近に感じてもらいます。	小学生(4年生以上)、中学生	前期、夏休み	傷害保険の加入、出前の場合は理科実験室の使用(必須ではない)。
211	農学部	教授	市村和也	植物の機能とバイオテクノロジー	本講義では植物の代表的な生理機能である光合成と、生長やストレス応答と密接に関わる植物ホルモンについて概説します。次に、遺伝子組換え技術が中核となる植物バイオテクノロジーについても紹介します。	高校生、一般(青年、壮年、老年)	前期、夏休み	上記の植物バイオテクノロジーの話に植物に関する授業要素を加えた内容です。
212	農学部	教授	望岡亮介	暑さに負けないブドウの品種改良	地球温暖化により、ブドウの色づきに問題が出てきていますが、栽培ブドウの近縁種の紹介とそれを用いて品種改良した事例紹介をします。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高校(全学年)、一般成人	個別に調整	
213	農学部	教授	櫻庭 春彦	微生物の世界	微生物は肉眼では直接観察することのできない、きわめて微小な生物です。この微生物の世界を幅広く紹介することがこの授業の目的です。微生物にはどのような種類があるのか、どこに住んでいるのか、どのように生きているのか、また人間とどのような関わりを持っているのかなどを知り、目に見えない微生物が持つ素晴らしい能力について理解を深めます。	高校生	前期の木曜日、後期の火曜日・水曜日は授業等のため実施が困難	
214	農学部	准教授	柳田 亮	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。			
215	農学部	教授	渡邊 彰	微生物とバイオテクノロジー	微生物は、自然界の物質循環において重要な役割を果たしているだけでなく、食品の製造や廃水処理など、我々の生活にも深く関わっている。本講義では、微生物が持つ多様な能力およびそのバイオテクノロジーについて紹介する。	中学生・高校生	日程調整の上、随時可能。	
216	農学部	教授	片岡 郁雄	キウイフルーツの仲間と品種改良	キウイフルーツの仲間であるマタタビ属植物の紹介とそれらを活用した品種改良について紹介します。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高等学校(全学年)	個別に調整します	
217	農学部	教授	小川 雅廣	食品としての希少糖の魅力	希少糖とは何かから始まり、希少糖の性質や食品に添加した場合の作用などについてわかりやすく説明します。	高校生		
218	農学部	准教授	亀山 宏	政策評価入門	プログラムの成果のインパクトをどう評価する？ インパクトを超えた評価は？	高校生	できれば定時の授業の期間以外で	パソコンの活用やワークショップ形式で
219	農学部	教授	木村 義雄	目に見えない細菌を知る	生物は、細菌が進化により獲得した代謝などの生命の基本的な機能を利用して生きている。目で見ることはできないため、認識しにくい細菌について、その種類やそれぞれの細菌が有する特徴について概説したい。	高校生から一般	要相談	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
220	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	地域強靱化研究センター 副センター長	藤澤 一仁	サイエンスカフェ (担当:金田義行、長谷川修一、野々村敦子)	地球の歴史や四国の成り立ちを知ることにより、自然からの恩恵と災害に備える姿勢、とっさの行動を身に着ける。	小学校高学年～高校生	常時	プロジェクター、スクリーン など
221	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授 副機構長 地域強靱化研究センター長 学長特別補佐	金田 義行	減災科学	災害前、災害時、災害後のそれぞれのステージで活躍できる人材育成とシンクタンク機能についての相談をお受けいたします。	中高生含む市民の皆さん	常時	特になし
222	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	地震と違って事前に備えられる風水害についてどう備えるか、情報の視点から考えます	豪雨災害は事前情報が多く、備えることで大きく被害を減らせることが出来る災害です。気候変動などにより激甚化する風水害にどう対応すればいいのか。確実な避難(行動)に結びつく情報について受講者と共に考えます。	中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します。	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV
223	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	大震災の際に一人一人が出来ること、「自助」について考えます	自分の命は自分で守る、救助される人ではなく救助する人になるために、地震時にはどのようなことが起きるのか、偶然生き残るのではなく、確実に生き残るための「作法」について受講者と共に考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV
224	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	地震だ！生き残れた！その次に待っていることは… 避難所運営について考えます	震災時の課題は「いかに生き残るか」。でも、生き残ったあとはどうするか。避難所に「お客様」はいません。避難所ではどのようなことが求められるのか、私たちは何をしなければいけないのか受講生と共にワークショップ形式で考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV
225	国際希少糖研究教育機構	准教授	森本 兼司	希少糖の作り方～砂糖との違い～	希少糖は微生物の酵素によって安価な単糖類を原料にして作られる。希少糖の工程とともに酵素の働きや水との関係について学ぶ。また砂糖との違いについても解説する。	中学生・高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談 液晶プロジェクターとスクリーンがあること	
226	総合生命科学研究所	教授	神鳥成弘	ヒトの体をつくる分子	世の中にあるすべてのものは、分子がたくさん集まってできています。ここでは、体の中で働いている分子の3D構造について易しく説明します。	一般成人、中・高校生	応相談	パワーポイントの上映
227	瀬戸内圏研究センター	教授	一見和彦	瀬戸内海の生物と環境問題	瀬戸内海に生息する微細なプランクトンやアサリなどの生態について紹介すると共に、赤潮や漁獲量の減少など、瀬戸内海が抱える環境問題について解説する	高校生・一般	日程調整による	Power Pointの使用
228	瀬戸内圏研究センター	教授	多田 邦尚	海洋科学、瀬戸内海的环境	①「海の科学」:海水の性質や、そこに生息する生物、さらに海洋の食物連鎖や物質循環について ②「瀬戸内海的环境」:身近な瀬戸内海について、過去の高度経済成長期から現在までのその環境の変化について	小学生(5年以上)、中学生、高校生、一般市民	個別に調整	
229	大学教育基盤センター	准教授	佐藤 慶太	触れてみよう！ラテン語	古代ローマの公用語として広く普及したラテン語はいわゆる「死語」ですが、英語をはじめとする近代語の基盤として、重要な役割を果たしています。そんなラテン語の魅力を紹介します。	高校生以上	随時	

番号	部局等名	職名	氏名	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
				テーマ	内容			
230	大学教育基盤センター	准教授	佐藤 慶太	哲学ってどんな学問？	難しいというイメージがある「哲学」。そもそも一体何をする学問なのか、西洋哲学の歴史に触れながら、分かりやすく解説します。	高校生以上	随時	